

---

# 彼女と勇者と往復書簡

深月織

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

彼女と勇者と往復書簡

### 【Zコード】

Z9983W

### 【作者名】

深月織

### 【あらすじ】

物見遊山半分で勇者選定式に旅立った幼なじみのアイツが、何の間違いか勇者さま（笑）に選ばれたそうです。大丈夫なのかしら。幼なじみの彼女（一般人）と彼（新米勇者）の旅の間の往復書簡。適当設定でお送りするノリだけファンタジー。

限定公開解除しました

## 01 彼女の手紙（一）

× ×

王国通信—《号外》 勇者現る！

さる水の月九日、勇者選定式にて八十年ぶりに聖剣が主を選んだ。王の名のもとに一ハ八代勇者と認められたのは、王国の東マーレル郷出身のクロード・ガイスト卿。

慣例に従つて、従者が決定次第、魔王討伐に向かうことになる。

× ×

親愛なる友クロードへ

王都はいかがですか？ 迷子になつていませんか。今まで狩りやギルドの魔物退治以外で村の外に出たことがなかつた田舎者が都会でマゴマゴしている様子が目に浮かぶようです。

頼りなげな未亡人や絡まれてゐる娘さんを助けて手当たり次第にフラグを立てていませんか？ 何故か厄介な女性と揉め事に縁がある貴方なので、幼なじみとしてはちょっと心配です。

貴方からの手紙とお土産、確かに受けとりました。素敵な髪飾りありがとうございます。だけど、ロースタ産の水晶細工の髪飾りなんて高価なもの、私が貰つて良かつたのかしら？ こういふものは恋人にあげた方がいいと思うのだ。

ええ、貴方が甲斐性なしだということはわかっています。二十年彼女なし人生ですものね。お互い様だというのもわかっています。村の若者人口が少ないのが悪いと思います。大事にしますね。

こんな田舎に泥棒もないだろうけど、うつかり家を開けていたら危ないかも？ 特に今は選定式で男衆皆が出でているから てゆーか、マジなの？

あの走り書きだけじゃツケわからなかつたのよ、「最悪だ、帰り

たい」って何が最悪なのよちゃんと内容も書きなさいよ。まあ、すぐ後に届いた王国通信で大体の事情はわかつたけどさ。

ええと。……御愁傷様？

これマジウソ世界終わつたー！ って村でひょっと騒ぎになつてたわ。

同姓同名かと疑つたけど、お土産だけ届いてアンタが帰つてこないつてことはやっぱり本当なのね。

勇者さま（笑）。

記事に魔王退治に行くつて書いてあつたけど、用意はちゃんと出来てるの？ アンタうつかりだから忘れ物とかしそう。寝坊しても起こしてあげる幼なじみ様はいらないんだから、しつかりしなさいよね。入り用のものがあれば遠慮なく言つて頂戴。この手紙と同じでギルドを通せばどこにいても届くでしょ。

とりあえずこのエーファ様特製の腹痛薬入れておいたから、ありがたく受け取るのね。アンタくらいじゃないの、市販の薬飲んでお腹壊す人。

まあいいわ、怪我には気をつけて、ちゃんと働いてきなさい。

……勇者（笑）って給料出るの？ しつかり交渉しておくれのよ、タダ働きはダメよ。

暇があるときに旅先のこと、手紙で教えてくれたら嬉しいわ。

『選ばれし者の剣』

アトスに伝わる聖剣。選ばれし勇者にしか手にする事は出来ず、魔王を唯一傷つけることのできる武器。主が居なこととは王都の主神殿に預けられる。

四年周期で勇者選定式が行われ、アトスの成年男子は生涯に一度は必ず選定に挑まねばならない。

親愛なるエーファへ

王都は人が多くて疲れます。お察しの通り、一度迷子になつてしましました。この年で情けない。

荷物が大変そうなご婦人と、道に迷っていると「君を助けて頂いた娘さんと知り合いましたが、別にフラグなどは立てていません。おかしな心配はしないでください。

選定式の前に買った土産が無事届いてほっとしています。出来れば自分で渡したかったのですが、すでにご存じの通りの訳で、しばらくは帰れそうにありません。

を回ぢて、何んつてもうたるといれし。

あと、髪飾りのことがなくても戸締まりはきちんとしなさい。すぐに戻しつけられる距離に俺がいるわけではないので、気をつけてくれぐれも、過剰防衛にはならないように。半分の半分くらいで勘弁してやることです。

一緒に選定式に来た皆は、一の手紙が届く頃には村に帰っているだろうから、選定式の詳しいことは彼らが話すと思うけれど

ジだ。大マジだ。

根性なしのこの聖剣がうつかり俺なんかに抜かれたもんだから、もう大変だったんだよ……。

怪しいなと思つたときに抜けないふりでもすればよかつたと後悔しきりだ。本当なら今ごろ村に帰つて……ああくそ、ひとつ魔王ぶつ飛ばして帰る！

と、俺としてはすぐさま旅に出るつもりだったんだが、陛下の野郎が激励会を！ とか神殿長のメタボが加護の儀式を！ とか言い出しあがつてまだ城だよ。

おう、城だぞ城。城の一室に滞在中ですよ。騎士だの侍女だのあちこちに人がいてウゼエ。聖剣に呪われてるんだから逃げねえつづの。

田舎モンだからウカツに出歩けないしょ。迷子は一度で十分だ。城、アホみてえに広いんだよ。

で、パーティーやらお祈りやらの合間合間に魔王討伐のメンバーを決めているらしいんだが、これがまた辛気くさいのなんの。足手まといだから口ばっかりの貴族の坊っちゃんやら実戦経験がない神官なんている奴なんだが。

あと一日待つてまだ決まらないようなら勝手に出発しようと思つてゐる。何なら、城下で冒険者雇つてもいいしな。

そうそう、勇者には給料はないが、支度金や援助として金貨50000枚頂いたぞ。その日にギルドの金庫に預けておいた。いまいち神殿は信用出来ないっぽい。使い慣れていくところの方がいいだろ。

締まり屋のエーファが金に困ることはないだろうが、もし何か入り用のことがあれば多少は使つてもいいぞ。暗証番号は知つているだろ？

ああ、そうだ薬助かつた！ 城の飯食いんだけど量が多いわ味は濃いわで胃薬貰つたらまんまと中つたよ……。また送つて。

もう王宮料理はいいや、エーファの野菜シチューが食いたい。

水の日十七日 すでにさざれつクローバーが  
ひまつ

## 03 彼女の手紙（一）

× ×

王国通信一『号外』 徒者決まる！

さる水の月一二十日、一ハハ代日勇者と共に魔王討伐に向かう徒者たちのお披露目が行われた。

栄誉ある討伐徒者に選ばれたのは、神より類い稀なる法力を授かつたマティウス神官、一角鬼をその剛力で討ち果たしたヴィクトール武官、暁の姫の再来と呼ばれる白の巫女フィルメル、毒水に冒された力サヴァー湖を一瞬で浄化した月の魔女ターリア。いずれも実力充分、必ずや勇者の支えとなるだろう。

勇者一行の出発は、旅立ちに相応しい日取りを待つて行われる予定。

× ×

親愛なる勇者（笑）クロード様へ

貴方が王都へ出発されてから、そろそろ一月になりますね。よく考えてみると、これだけの間長く顔を会わせないのは、十年前に貴方が師匠に連れられてアイギス山脈へ修行に出たとき以来でしょうか。あのときは三ヶ月で済みましたが、今回はそれ以上になるかと予想されます。

毎日見ていた顔が隣にないというのは、少しだけ調子が狂うような気もしますが、貴方がいないこの機会に隣家の魔窟状態をなんとかする所存であります。

さ、寂しくなんかないんだからねっ！ と心にもないお約束のツンデレをかましておいて、クロードくん秘蔵の工口本発掘にかかりたいと思います。ニヤリ。

そういうえば最新の王国通信、お仲間さんの写真と一緒に写つてた勇者（笑）様、あれアンタじゃなかつたわよね？ 影武者？ クロ

のくせに生意氣な。

つてゆーかさ、昔話聞いてたときにも思つたけど、魔王討伐に従者が四人ぽつちつてどうなの？ 魔族さんたち大群で待ち受けてたら、アンタたちおしくらまんじゅうでペチャンコ敗北じゃないの？

……ああ、だから王国の歴史が五百年なのに一 ハハ代なのか！

…。

## ガンバツ

それはおいといで、一昨日他の皆が村に帰つてきたわ。帰つてくるなり皆して人のところ押し掛けてきてアレコレ土産話してくれたけど、あんまりアンタの話してくれなかつたのよね。

聖剣を抜いたときどんなマヌケ面してたとか、引っ掛けたご婦人やら娘さんやらマッシュチョやらごどつ迫られてたとかネタになりそつなこと聞きたかつたんだけど。

やつぱりアレからしら、身内から勇者（何回書いても笑うわー）が出来ちゃつて複雑なのかしら？ 同じ村出身で年齢もおなじくらい、差異はないのにアンタが選ばれちゃつて、いろいろと考えるところがあるんだろうな、つて思うとあまりしつこく訊けなくて。心優しいエーファさんとしたら、男のちつちえープライド叩き割るつもりもないからさ。ほとぼりが覚めたらまた訊こうかな。

そういうえば皆やたらと氣を遣つてくれたけど、別に便利な隣人兼幼なじみが不在だからつて早々困ることもないわよね。

ロゲールつてば「俺がいるからいつでも頼りにしていいぜ」なんてカツ口つけてたけど、黒油虫に悲鳴上げて震え上がる男が何の頼りになるんだつて生暖かい気持ちになつたわー。あえて言わなかつたけどや。

そんな感じでこちらはいつも通りです。

野菜シチューはさすがに送れないけど、ちょこつと差し入れを同送しておぐわ。アンタが勝手に拝借しやがつて減つた梅酒と、薬のセット。一日酔いの薬、胃薬と、追加の腹痛薬。また他に欲しかつ

たら言つて。

美男美女揃いのお仲間さんの話もまた聞かせて頂戴ね。他人からは泰然と見えるらしい内情は人見知りのアンタが心配だわ。

女性もいるんだから、村にいるときみたいに半裸でフラフラしないこと。寝癖もきちんと直すのよ。黙つてキリッとしておけばそれなりに見られるんだから、初対面の人は騙されてくれるわ。

よろしくお伝えください。

(つて書いて、私のこと知らないんだからよろしくされても困るわよね、と気づいた。まあ、面倒な幼なじみが世話になるんだからといふことで。)

水の月二十三日 まだ出発しないのかよ！ と王国通信に突っ込んだのは内緒、エーファより

× ×

### 《勇者の従者》

魔王討伐に付き従う、勇者の補助役。大抵、法術士である神官、攻も守もこなせる武官、治癒術の使える白魔術士、精霊と通づる精靈術士が選ばれる。

魔王に対することができるものは勇者のみなので、その他の折衝、交渉、露払いをこなすことが役目。

× ×

### 親愛なるエーファへ

現在、ルッキスの宿でこれを書いています。そういえば、無理矢理拉致されて魔獣の山の中に放置された修行から十年立つんですね。人生での二ヶ月ほど死んだ日々はないので、魔王討伐など昼飯前です。いえ、油断はしませんが。気を抜いた瞬間どこからか師匠が岩を投げてきそうで、常に臨戦態勢を保っています。あのジジイこそ真の魔王だと思います。

エーファが手紙を書いてくれるお陰で、遠く離れた地でもあまり寂しさは感じません。目覚めのボディプレスがないのは物足りないけれど、なんとか起きています。それから、忙しい君の手を煩わせるのも悪いので、魔窟を片付けていただくのは謹んで辞退します、と言つておきます。エロ本なんて隠していません。屋根裏にも壁の中にもベッドの下にも隠してないので破壊するまで家捜しするのはやめてくださいお願いします泣くぞ。

届けてくれた酒も、ありがとう。大事に飲む。薬のことだけれど、予備があれば一日酔いの薬をまた送つてください。町や村へ寄るたびに、その有力者から酒宴に招かれて少し辟易ぎみなんだ。……

だから俺は一人で旅に出たかったつうのにクソ。

エーファがお訊ねの王国通信の写真についてですが、お察しの通り、あれは俺ではありません。写真が撮られたとき、俺はすでに王都から南の街に到着していたから。多分、対外的に格好をつけるために似たような人物を身代わりにしたんじゃないかな？ ご苦労様だね。華々しく出発して欲しかったんだろうが、いい加減面倒なのでとつと城抜け出したあとでした。

ついでだからギルドで一、三簡単な依頼をこなしながら進んでいたんだが、二つ目の街を通過したときにお仲間さんにお連れされた。現在一緒に移動中。ウゼエ。マジウゼエ。あいつらいるだけで目立つのなんの。こつそり魔王んとここまで行つてさつくり殺つてトンズラするつもりが、あいつらのせいでいちいち足止め食らつてスピードが落ちたわ。マジウゼエ。無駄に美男美女、ぜつてえ職業間違つてるし。

面倒なので一言で紹介してやる。神官は鬼畜眼鏡のストーカー。武官は硬派なロリコン。巫女は僕っ子で不思議っ子の一重苦。魔女はクールな天然ボケ。

……エーファが激励するまでもなくすでに死亡フラグが立っているような気がするのは俺だけか。  
一人で旅したい……。

村に帰れた野郎共がうらやましい、が、ここでもう一度言つておく。戸締まりはきちんとする。前言を撤回するが、手加減しなくていい。人がいない間に怪しい行動をするやつらは剪定鋏でちん切つていい。俺が許可する。特にロゲールは帰つたら風車小屋の裏に呼び出してやるから覚悟しておけと伝えてくれ。

王都でのことは、俺が色々話してやるよ。  
あといちいち勇者に（笑）つけてんじゃねえ。

風の月一日（あいつら絶対撒いてやる……）クロードより

× ×

王国通信一『号外』 勇者特集号

当代一 ハハ代勇者となつたクロード卿は、炎のよつた赤髪に夜色の瞳を持つ精悍な雰囲気の青年だ。王城に滞在中、鍛練とともにこなした王国騎士は、底知れない力を感じると評した。それもそのはず、勇者は剣聖ギーツエンの愛弟子で、彼の流派で唯一の免許皆伝者。勇者となるのも当然の技量を持っていたのだ。

記者はさらに詳しい情報を得るため、彼を育んだ地へ向かった。

友人Aさん「彼は昔から勇敢な人で、魔物が近隣の村を襲つた時など真っ先に駆けつけ多くの人々を救つていました」

友人Bさん「ギーツエン氏はたまたま幼い彼が鍛練しているところを見て、その素質を見抜き、自らの後を託すのは彼しかいないと弟子にとつたんですよ」

友人Cさん「彼、村にいるときから言つていきました。何かに呼ばれている気がするって。今思えば、それはきっと……」

勇者クロードの話を聞かせてほしいと申し出ると、皆快く逸話を語ってくれた。勇者となる前より敬慕を集め、信頼に足る人物だと慕われていた様子がうかがえる。紙面の都合で全てを記することはできないうが、きっと彼の人は我々の期待に応え得るだろうと確信できた取材となつた。

× ×

クロードへ

王国通信 噴いたわ（笑）！！

友人ABC誰よ！ 精悍（ ぷつ ）、底知れないつて得体が知れないじゃないの、師匠のことまで捏造されてるし！

師匠つてば酔っ払って畠を耕してたアンタに「鍬の使い方がなつとらーん！」って絡んで肥溜めに突っ込んだこと口止めする代わりに剣を教えてやるつて押し掛け師匠になつたんじゃなかつたつけ？記者フィルター恐い！ これから私、王国通信の記事は半分眉唾だと思って見そう。よくああ見てきたような嘘っぽい嘘書けるよね！確かにね、記者っぽい人は来たのよ。ていうかアンタが選ばれてこっち、物見高い暇な人たちが村に押し寄せちゃつて大変よー。だから魔窟を片付けたんだけど。

あ、安心して、『これが勇者の生家です！』つて見せたのは外観だけだから。工口本は隠し直してあげたわ、せいぜい探すのねフフ。ついでにお隣の薬師さんは「勇者さまが幼い頃から愛用していたお薬です」つていろいろ稼がせてもらつたわウフフフ。

村おこしで勇者グッズ作つてるけど、ちゃんと使用料取つてるから。安心して名を上げていわよ。

ギルド長から聞いたけど、今はメイングの森を過ぎた辺りかしら。うつかりな勇者さまに傷薬の差し入れもしておくわね。あと、香草茶と。赤い花びらが入つているのが増血と消炎効果、青いのは精神安定よ。スツ転んだときとか、イラつきたときにでも飲みなさい。何しろイロモノ勇者さま御一行ですものね、小心者のクロードが胃をキリキリさせている様子が目に見えるようだわ。止める私はいないんだから、キレイようにな。

風の月十一日 ハーフア

追伸。長が何人か治安のために人を置いていてくれてるので心配なさらず。

× ×

### 《勇者》

聖剣に選ばれし者。

魔王を唯一害することの出来る《選ばれし者の剣》を奮つことのできる者に、勇者という称号が与えられる。アトスでは成年男子のみを選別。別大陸には女性勇者も存在するらしい。選別の条件：「成年」「男」というのは、実のところ人が決めたもので、資格を得るのは剣の気まぐれによるところが大きい。一〇八八代の内、魔王討伐から戻ったものは半数以下。

× ×

親愛なるエーファへ

まず、いい加減、王国通信《号外》を購読するのはやめるんだ、と言つておく。あれは王国というブランドに名を借りた捏造娛樂だ。一パーセントの真実を九十九の与太話でコーティングした虚構だ。（と、ここまで書いて「バツカねー、だから面白いんじゃないの」とせせら笑うエーファの声が聞こえたよ、そうだよなお前はそういう奴だ）

魔窟を片付けてくれてありがとう。俺の芸術本をかくれんぼさせた様だが、エーファが隠すところなど知っている。かまど竈の中だろ？  
いいよ別に……どうせ貰い物だし……「涙で滲んだと」

勇者グッズがめちゃくちゃ気になるんですがナニソレ。俺の顔型まんじゅうとか売つてねえだろ？ 俺の顔をみんなが食う……遠回しな呪詛っぽいのでやめて。頭から食われるとかマジゴメンなんで。

オッサンにはエーファに余計なことは言つたと書いておいたんだ

が、ヤケクソみたいな量の薬を届けてくれたということは、やつぱり聞いたんだな。大丈夫、大したことはない。ちょっと頭をザックリ、いや、実は結構酷かつたのは否定しない。でも巫女の治癒術があるから、あるんだけど、あるはずなんだが、（成功が稀つてどういうこと？）……ありがたくエーファの薬を使わせてもらつてる。魔女が調合を知りたがつてるので、良かつたら教えてやつてくれ。魔女といえば四人の中で彼女が一番アクが少ないため、気づけば会話することが多いんだが、鬼畜眼鏡が嫉妬してウゼ工。奴、幼児の頃から魔女に惚れているらしい。暇ありやネチネチ嫌味攻撃だよ。野郎、魔女の前では好青年気取りやがつていつか化けの皮を剥がしてやる。

武官は武官で巫女にデロデロだし、優しくするのと甘やかすのは違うのだと一度注意したい。不思議巫女は電波を受信するたびに頓狂な行動をするので、軌道修正が大変なんだ。

青い茶の消費量が半端ない……。マイペースが四人揃つたら混沌だということをこの旅で知りました。俺、魔王と戦う前にこいつらと戦わなければならぬんじやないだろうか。

オッサンに頼んだ治安維持は、うん、勇者騒ぎで余所者が流れてきているようだから、念のため。俺がいない間、周辺の魔獣狩りも依頼済みなので安心してろ。間違つても青年団の仕事に混じろうとしないように。ジジイがお前に教えたのはあくまでも護身術なので、自重してください。

風の月十五日 クロード

追伸。別に俺はささやかな膨らみでも満足できる男なので、お前が豊胸体操をする必要はない。

## 07 彼女と勇者の手紙（混線）

× ×

王国通信一『号外』 熱愛発覚！？

勇者一行は各地での混乱を収めつつリツシアの地に入った。

王都から彼らの軌跡を追ってきた記者だが、ここで驚くべき光景を目にした。街で暫しの休息を取る勇者クロードの元へ、アーレンス公爵令嬢フランツィスカ様が現れたのだ。クロード卿とは親しげで、一体どんな関係ですかという記者の質問に、はにかみながら答えてくれた。

「彼とは不思議な縁で知り合つたんです。まさか勇者さまに選ばれるとは思つていなかつたのですが……これも何かの運命かしら」

魔王討伐の道程と共に、勇者と姫君の恋の行方も見守りたいと思つ。

× ×

クロヘ。

クロのくせに生意氣

エーファ

× ×

エーファへ

待て、この間言つただろう、虚構だつて！ 以前の手紙にも書いたと思うが、彼女は迷子の俺に道案内してくれた子だつたんだ！ 公爵令嬢とは知らなかつたけど、ただ単に王様たちからの書類を届けてくれただけだつて！ そりやわざわざ来てくれたから、接待し

たがやましい」とは何もない！

クロード

クロード

××××××××××××××××××××××××××

〇へ

一昨日、東マレール郷という田舎に住む薬師の私のところへ、王都育ちで上流社会出身のとてもお綺麗なお姫さまがわざわざ訪れてくださいました。胸でかかつた。

にこにこと歓談すること一時間、ねえ、なんで初対面のオジヨーサンに私がアンタのことで礼を言われなきゃなんないわけ。

「クロード様がお世話になっています」だと？ 嬢ちゃんに頼まれてしきめんぐさい隣人の面倒を物心ついたときから見ている訳じやないっての乳がでかいからって調子に乗んなよ……

E

××××××××××××××××××××××××

ヒーファさんへ

俺は潔白です

お胸は大きさより感度が重要だと思いますヒーファさんのお胸は愛らしくていいと思います

クロード

× ×

クロードへと

変態（冷たい目）

ギルド長にギルド便で遊ぶなど叱られたので「ねぐらしこじ」とやってります。カチーンと来たけれど田を置いていたりこつものフリゲ要員だと理解できたので勘弁してやります。

変な女に好かれる体质は変わらずのようだ、一抹の不安を抱くわ。旅先で花街に行くのはいいけれど、お姉さんばかりちゃんと選んで遊ぶこと。フラグ立てない。

……実らない薬は必要かしら。

ていうか私の胸が小さくてアンタに迷惑かけたか（怒）

風の月二十五日 ハーファ様より

× ×

ハーファ様

花街は利用していません故にその手の薬も不要でござります、俺をどんな男だと思っているんだ。

俺ほど一途な奴はないですよ。

お嬢さんが田に余るような、何らかの手を打つので、遠慮なく申し出でください。

ハーファの胸はそのうちなんとかしてあげるので俺が帰るまで我慢してください。

ていうかホント王国通信取るのやめろ……

陸の月二日 クロード

× ×

### 『ギルド』

互助組合。職種は多岐に渡る。無職の者にギルド加入で仕事を斡旋したり、国や街から依頼を受けて魔物討伐を請け負つたりする。国外に出るには役所に移動届けを申請しなければならないが、ギルド員であれば簡易手続きで済む。

民間組織だったが、今では十人に七人が何らかの形でギルド加入しており、その影響力は絶大。

× ×

### 親愛なるエーファへ

久しぶりの手紙になつた、ごめん。魔王領域まであと少しの距離にいる。雑魚と違つて、この辺りの魔物は統率がとれている分、結構手強い。聖剣が呪われている分アホみたいに丈夫なので、研ぎ直しの必要がないからまだ助かる。鍛冶屋も見つからなくなつてきたし。

というか、サボつてねえで仕事しろ、と誰かあいつらに言つても一マジ従者いらねえ。気がついたら神官は魔女口説いてるし、ほだされたのか魔女まんざらでもなさそうだし、武官は巫女を膝抱っこだし、色ボケ戦隊に入隊を許した覚えはねえ！！

そういうれば仲間が増えた。魔術師なんだが、剣もいけるつて珍しい奴。とにかく力押しの流儀を叩き込まれた俺とは系統が違つて、受け流すのが上手い。いい修行になつてる。なにより、彼は言葉が通じる。普通に常識がある会話が出来るつて幸せなことだつたんだな……。俺より背の高いところだけは気にくわないが、事態をやや

こじいことにする色ボケ戦隊よりよっぽど頼りになつてゐる。（もちろんエーファの手紙や差し入れも俺の支えになつてゐるぞ！　いろいろとつっこみたいこともあるが。巫女の治癒術がアレなので、お前の薬が俺の命綱です。追加ください。）

神官が派手派手しい美で衆目を集めるなら、奴は静かな美貌でひつそり心に忍び寄る感じ？　この評は巫女と魔女の受け売りです。サカリアスが仲間になつたのはデイルツ領で誘拐事件を手掛けていたとき。なんでも彼の恋人が行方不明らしくて、誘拐被害者の中に彼女が居ないか探している途中、俺たちと行き合ひ協力しあうことになつたんだ。

最初魔族の仕業だと言われていた事件は、大方の予想通り魔の活動が活発になつてきてることを利用した便乗犯の仕業で、これぞお約束つてな展開で黒幕の領主が出てきた。館の地下に一代ハーレムつて馬鹿じやね？　とりあえず領主の始末は我慢の限界に達した女性たちにお任せして、神官のツテで領主代行を寄越してもらえるように頼んでみた。お貴族様出身はこういうとき話の通りが早いな。魔王領域が近いから、来てがなかなか見つからなくてまた足止めされたけど。

肝心のサカリアスの彼女だが、いなかつたんだ。これだけ探して見つからないということはあとは魔王領しか思い当たらないということだ。いい奴だから、悲しい思いはさせたくない。無事だといいな。

東マレール郷は魔王領域からは遠いので、あまり心配していないが、アホはどこにでもいるのでエーファも気をつけて。  
早く村に帰つてエーファの飯が食いたい。

## 09 送られなかつた彼女の手紙

×  
秘される記録

水ノ十八 都から南下。追跡。  
クイゼにて小鬼討伐  
コルソにて水妖駆除  
ツアイト市まで商隊護衛  
トドムにて一角鬼討伐に参加  
アーレにて地下道探索

負傷なし。剣不使用。

水ノ二十五 ベルツ市にて従者合流。  
カルマンにて小鬼駆除

風ノ一 ルツキス着

メイニングにて斥候の魔族と接触  
剣を抜く。負傷。数日療養。

ギルド長の訪問

従者を撒く。

ニイイにて魔獣討伐

ハニガの古代遺跡探索中、従者に発見される。  
防衛装置と戦闘 / 負傷

風ノ二十 リツツアにて公爵令嬢と面会。

風／末から陸／初にかけて薬師と頻繁なやりとり

道中、様々な揉め事に巻き込まれる

陸／五 デイルツ男爵領到達

デイルツにて誘拐事件捜査。領主捕縛。  
流れの魔術師を協力者に（要情報）

流／十 魔王領域へ。

追跡が厳しくなつて来たため、交代要員を求む。

× ×

すぐ側にどつける相手がないのでストレスが溜まりまくっています。どうしてくれるのかしら。王国通信も情報隠匿のためかネタ記事ばかりになつてきました。

ギルドに情報料払えば、今アンタがどこでどうしてるか教えてもらえるだろうけど、できないでいる。

怖いんだもん。

大丈夫だつてわかつていても、何があるかなんて予知出来るはずもない。私たちの両親たちが亡くなつた事件だつて、あのときには誰もそんなことは予想してなかつたでしょ。

日がたつにつれ、みんなが優しくなるのが嫌。気遣う素振りを見せられるのが腹立たしい。

だつてまるで、

ム力つべ。連絡寄越しなやこよ。薬は届いてるの。転移門を開ける力があつたら、どつきに行つてやるのに。

そもそもどうして勇者は徒步で魔王討伐に向かわなきゃいけないのよ、誰が決めたのよ。

滅ぼすことのできない魔王に捧げられる勇者といつ贅、このシステムを誰が作ったの。

誰がアンタを私から奪おうとしているの

## 10 彼女の手紙（四）

× ×

### 王国通信 『号外』

前年、大陸に渡つた第三次友好使節団が帰国した。他大陸に渡る海域は海の魔物が巢食うため、使節団にとつては命がけの責務となる。幸いにも今回、使節に被害はなく、危険海域を渡る折も魔物の姿は遠目に見えるのみで、比較的穏やかな旅だつたそうだ。

使節団は港街グステイにて一泊したあと、王都へ任務達成報告に向かう。

今回の使節が果たした役割の詳細は、後日行われる独占インタビューにて掲載予定。

× ×

親愛なる友クロードへ

つづく。思ふんだけど、ギルド便すごい。王都からも辺境からも手紙が届く日数そんなに変わらないってどんな仕事してるの。

少し間が開いたから、郵便事故でもあつたのかしらって、ちょっと心配してたのよ。無事に届いています。

アホ領主成敗ご苦労様でした。新しい友人が出来たそうで、しかも同性つて快挙ね！ アンタ地味に友だちいなかつたから（村の野郎共とは何故かいがみあつてばつかりだし）、楽しそうでよかつたです。そのお友だちの恋人さんの捜索について、ギルドには相談してみた？あの得体の知れない情報網で、噂の欠片くらいは見つからないかしら。

そういうえば師匠が帰ってきたのよ。北央大陸に行つていたなんて言つて、あまり見ない織りの布とか薬草とか薬学の本をお土産

にくれたんだけど、ホントに行つてたと思う？　他大陸に渡る船だなんて、商船だって一年に一隻あるかどうかで、しかも渡航の許可が下りたとも思えないのに。……密航……？　いや！　私は知らない何も聞かなかつた氣づかなかつた！

しばらぐのんびりするらしく、アンタが留守でちょうどいいし隣家に滞在するだつて。せつかく魔窟を片付けたのに。せめて家が壊れないように見張つておくれわ。

進行速度を考えたら、そろそろ魔王領域に入る頃かしら。ギルド便もさすがにそこまでは手紙届けられないわよね。念のため、薬を多めに渡しておきます。持ちきれない分は、役に立たない従者どもに持たせなさい。梅酒はなくなつちゃつたけどルーリーの果実酒がいい感じに出来たので、オマケで送つておきます。サカリアスさんとやらとお飲みくださいませ。それから、魔王領は宿なんてないだろ？　各種スペイス類ね。採取できそうな薬草のメモを入れておくので、役立てて。

……師匠にお前はオカンかつて言われた……。失礼な！　ちよつと自分でも思つてたよ！

あと、これは独り言です。  
逃げちゃつてもいいよ。

どうせまた四年したら新しい勇者を選ばなくちゃならないんだから、クロードがもうヤバイなつて思つたら、逃げちゃえ。私が許す。って言つても、アンタはギリギリの無理を重ねて何とかしようとするとんだらうけど。馬鹿だし。

待つてる。

『王国』 西に位置する四方を海に囲まれた陸地にあるアトス王国の  
通称。北を険しい山脈、東を深い森、西は荒海、南に魔王を配する。  
広大な土地があるにもかかわらず、人里を一歩出ると魔獣や魔物が  
闊歩しているため、他国との交流がままならず独特の文化を発展さ  
せることになった。

国を治めるのはアーベントロート王家。

親愛なるエーファへ

ギルド便恐い。現在魔王領域進行中。この辺りは遺棄された村のあとが残るだけの荒野で、辛うじて屋根が残っている建物で野営している。色ボケ戦隊はこの度それぞれめでたくまとまって、手紙を書いている俺の背後でイチャイチャしてます。ムカつく滅びろ。俺がエーファと離れて一人ぼっちで苦労してるつづのにこいつらムカつくサカリアスと示し合わせて置き去りにしてやろうかな！ここまで来ると隠密でひとつ魔王城まで単独制覇した方が早い気がする。

ギルドで討伐隊作つたら聖剣なくてもサクッと魔王倒せるんじゃ

ないでしょ？ そんな気がするギルド恐い。

その恐いギルドには、お前の提案通りサカリアスの恋人の情報は伝えてある。だけど、行方不明者の情報が多すぎて逆に解りづらいことになつてゐるらしい。奴が諦めない限り、俺も協力しようと思つ。

果実酒うまかった！ ちょっといつもより甘めかな、と思つたけど、疲れてだからちょうど良かつたよ。サカリアスには一口だけやつてあとは独り占めしてやつた！ ケチと言われようが俺のだもんね。色ボケ戦隊なんかやるもんか。魔女が作り方教えて欲しそうにしてたので、神官が飲むと思ったら腹立たしいが、あとでこつそり教えてあげてもいいか。お前が書いてくれた薬草料理レシピも凄く喜んでたし。

うん、無表情に喜んでた。神官に睨まれた。魔女が嬉しそうのは良いがそれが他人（俺のことね）から『えられたものだ』ということが気に入らないらしい。あの男ウゼエ。

ウゼエといえば、自分の髪を踏んでよく転んでいる巫女にエーフアに以前叩き込まれたりボンを使う髪結いをしてやつたら、ものすつごくキラキラした尊敬の眼差しで見つめられて、武富につつかり殺されかけた。手が滑りましたつて普通岩は飛んでこねえ。自分が出来ないからつてハツ当たりはヤメロ。

従者の女性たちはある意味小動物みたいでまだ可愛氣があるだけ我慢できるが、野郎共はウゼエ、その一言に尽くる。早くおさらばしたい、というわけで魔王領域サクサク攻略したいと思つ。

無理しない程度に頑張るから、心配しなくても大丈夫。いや、心配してくれるのは嬉しいけどな？

そうだ、エーフアがあのジジイの面倒なんか見なくていいからな。俺んちから叩き出しどいてください。ヨキア家のベルタさんに押し付けるとよいと思います。アンナさんでもいい。姉妹両方とか死ねジジイ。

オカソなんて思つてないよ。ちやんとHークアのところに帰るから、余裕で待つてろ。

流月十日 クロード

× ×

### 王国通信 『増刊号』 秘湯 探訪

それは、知る人ぞ知る。同好の士の間だけで囁かれる秘密の場所。どんな険しい山道だろうと、どんな危険な魔獣出没地帯だろうと、それを求めてどこまでも！ 片手に桶を携えて、使用するのはもちろん環境に優しい自然派石鹼、タオル巻きなんて邪道だぜ！ この道四十七年、秘湯狩人 モーリツィが今回皆様にこっそりと、癒しの湯・活力の湯・美肌の湯・痺れるほど刺激的な湯・魔獣が混浴をねだるスリリングな湯等々、様々な効能を持つ温泉をご紹介！ ～～～秘湯へ向かわれるときは、充分周りに注意を払い、場合によつては何が起こっても後悔しないように一筆残しておくか、冒険者ギルド員に同行をお願いすることをオススメ致します～～～

### 特別付録

- ・紹介秘湯効能一覧表
- ・危険察知に便利な魔獣分布図
- ・心残りチェック表

× ×

### 親愛なるクロード様

本日もおつとめご苦労様です。魔王領域から離れた田舎にいると、魔物の被害や魔族の侵攻のことは遠い世界の話のよつた気がしていなければ、現実に幼馴染みの貴方がそこにいると思えば、他人事ではないのだと身につまされます。

クロードにお願いされたので、王国通信号外見るのはやめて、今はギルドの情報誌を取つてゐるわ。ちょっと値は張るけれど、いろいろ勉強になります。

そう、もうお気づきのこととは思われますが、私、この度薬師階級を上げました！ 情報誌を購読できるギルド位<sup>ランク</sup>が必要だったのと、改めて師匠や長に勧められたのよね。階級を上げるとクエストの義務が生じるし面倒だから、登録時そのままにしていたけれど、この『時世だもん、贅沢は言えないわ。

いいこともあったのよ。ギルドを通しての薬や薬草の買取額が二割増しになったの。巷の流行りは治癒術だけど、実のところ術力切れになつたらそこで終わりだから、ギルドでは重篤な怪我でもない限りは薬や薬草を使うことをオススメされているんだって。

それに何といっても、私の薬は勇者さま御用達ですから。稼がせていただいてますわ。

と、いうわけで売れっ子薬師になつてしまつた私は、少なくなつた在庫補充のためにただいま採集の旅に出であります。いつもはアンタについてきてもらつて、村周辺の森を回るくらいだつたし、こんなに遠出するのも初めてだから、ちょっとビクビクしてゐる。王都行つたときのアンタを笑えないわ。

ホントのところ、師匠が「村ひま、温泉行きてえ癒されてー！」つて駄々こねたのが発端。そしたらギルド長が「いいところ知つていますよ」つて、師匠を唆してさ（ちなみにアンタん家で飲み会やつてる最中。シマミ作製要員が私）。なだめるのも邪魔くさかつたから、「ハイハイ行つてらつしゃいお土産よろしくー」、なんて見送る気満々だつたのに、温泉地で特別に取れる薬草の話なんて持ち出されたら行くしかないでしょ？ 「温泉なら私たちも行きたいわ」つてヨキアさん家のお姉さんたちも言い出して、めでたく出発と相成つたわけです。ギルド長つてば師匠に体よく魔獸討伐押し付けて、私を薬草採取に誘導して一拳両得を狙つたんじゃないの……？

なんだか訝然としないながらも、温泉堪能しつつの魔獸退治は師匠とお姉さんたちに任せて、私は隅っこでちまちま採取を頑張ります。美人姉妹を両手にウハウハしている師匠がウザイので、調合中偶然できたつぽい『ちょっと男性が大人しくなるお薬』を、実験

がてら今夜飲ませてみようかと思つてゐる。

採取していはる以外はなにもすることがなくて、毎日上げ膳据え膳、温泉にまつたりつかつて、急けた身体がもちもちしてきたような気がします。ヤバイ。肌がもちもちはいいけど身体がもちもちはヤバイ。明日から走る。

この辺りで採れる野草を使つたお料理、宿の人に教えてもらつたので、クロードが帰つてきたら作つてあげるわね。腹痛や胃痛に気をつけて、無理せず頑張つてください。

流月十四日 ニーフア

（ところでギルド便、ここにまでやつて来ました……。いや、長から私の居場所は聞いていたのかもしれないけど、けど……！ ギルド便恐い。）

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n9983w/>

彼女と勇者と往復書簡

2011年10月6日14時11分発行